

令和元年度 第2回区政会議 当日いただいたご意見への回答

項番	項目	ご意見	回答又は西区の考え方	対応分類 (①～⑤)
1	コミュニティ・防災	<p>【コミュニティの形成(きっかけ・継続)について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流のきっかけはあいさつ。特に子供とあいさつを交わすことは有効。子どもは返してくるし、一緒にいる親は無視できない。・取組みを進めるためのマンション内における「キーパーソン」が必要</li> <li>・マンションでは合意形成がないことが進まないが、交流や付き合いが煩わしいと思う人がマンションに移り住むケースも多く、居住者間の交流が少ない。</li> <li>・マンションにいる人は地域に関わりたくない人がいるのでは</li> <li>・賃貸マンションが多く、人のつながりが薄い。</li> <li>・部屋のまた貸しなどもあり、管理組合の人でも誰が住んでいるのかわからない。</li> <li>・部屋を事務所として使われているマンションがあり、人の出入りも多く、どんな人がいるのかわからない。</li> <li>・古いマンションにおいては高齢化が進んでおり、助けるより助けられる方が多い。</li> <li>・なかなか防災訓練に参加してもらえない。楽しいイベントがあれば参加があるのでは？</li> <li>・マンションの防災訓練を区としてもっと表彰して、優秀なマンションを表彰すればどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流のきっかけのあいさつなど、コミュニティづくりにはまず居住者の皆さんが意識的に取り組んでいただくことが何より重要です。</li> <li>・西区では、防災をはじめ、子育て、高齢者の健康保持など、様々な社会的課題解決の手段としてそれぞれのコミュニティが有効、かつ、重要であることの周知・啓発をするとともに、取組み支援を行っています。</li> <li>・具体的には、まず手始めとしてマンション毎に異なる課題(ニーズ)などを把握するために区内の約430箇所の分譲型のファミリーマンションの管理組合あてアンケートをお送りしました。ご回答をいただいたマンションにはそれぞれの課題(ニーズ)に合わせた取組み「防災出前講座」「にっしー広場」「いきいき百歳体操」をきっかけとして、人と人のつながりが広がっていくよう支援しているところです。</li> <li>・防災の取組みとしては、マンションにおける防災出前講座をきっかけとして、段階的にマンションの自主防災組織の立ち上げ・防災訓練の実施につながるような支援を行ってまいります。またご意見としてお伺いしましたマンションの防災活動への表彰等につきましては、今後検討してまいります。</li> </ul>	①、③
2	防災	<p>【防災対策に関する啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション内で自主防災組織を作っている、誰かが助けてくれると思っているのではないか</li> <li>・マンション住民のほとんどの人は震災などがあつたら公助でやってもらえると思っているのではないか</li> <li>・マンション内で防災の備品やグッズは用意しているが、徐々に意識が薄れる</li> <li>・区役所にはマンションにおける防災対策における共助(コミュニティの必要性)について、周知・啓発を続けてほしい</li> <li>・自然災害に対する危機感を感じさせるような広報が必要(具体的な被害事例など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害が発生した際、発生初期段階で行政ができる対応には限りがあります。</li> <li>・阪神淡路大震災では生き埋めになり救助された人の98%が自助・共助によって助けられました。公的機関が助けられたのはわずか1.7%という記録があるように公助には限界があります。</li> <li>・10月の台風19号で多くの方が避難生活を強いられましたが、改めて注目されたのがタワーマンションのリスクでもありました。電力供給が止まりエレベータの停止、排水設備が破損、水道が供給停止。ライフラインが途絶えることによって、孤立し「命」の危険すらあるということも報道されていました。</li> <li>・日頃からマンション内(隣近所)でつながっていただき(コミュニケーションを図っておくこと)、災害時の備えを進めることが重要だと考えています。</li> <li>・区役所としましても、自助・共助の必要性を広報紙やチラシ、防災訓練などあらゆる機会を通じて広く区民に周知し、防災意識の向上に向け取り組みを進めてまいります。</li> </ul>	①
3	防災	<p>【地域の取組み周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防犯カメラ設置「やイベントなど地域の方で様々なボランティアをしていることをマンション住民がわかっていないのでは？</li> <li>・行政がやっていると勘違いしている人もいるのでは？地域の方がボランティアでやっていることを周知すれば、防災にも関わってくれるようになるのでは？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から近隣の方や地域とコミュニケーションを図ってつながりを作っておき、いつ起こるかわからない災害に備えることの重要性や、有事の際に地域振興会を核とした地域の皆さんのボランティアにより、地域災害対策本部を立ちあげていただくこと、さらに、まちの防犯カメラや街路防犯灯も地域の方々々が維持管理し、犯罪などの抑止に寄与いただいていることも合わせ、引き続き広報に努めてまいります。</li> </ul>	①

令和元年度 第2回区政会議 当日いただいたご意見への回答

項番	項目	ご意見	回答又は西区の考え方	対応分類 (①～⑤)
4	防災	<p>【危険カ所の周知】</p> <p>・浸水がおきやすい地域や、過去の津波の記録など、危険カ所などの情報を伝えてほしい</p>	<p>・西区では、内水氾濫、南海トラフ巨大地震による津波浸水が想定されています。想定場所については水害ハザードマップに掲載しております。 マップは区役所にて配架しており、また、区のHPでも掲載しておりますのでご参照願います。</p>	①
5	見守り	<p>【中村忍委員(西船場)】</p> <p>・見守りコーディネーターについて、様々なご苦労があると思われるが、報酬額が低いのではないかとと思われる。 報酬の増額を図られてはどうか？</p>	<p>・見守りコーディネーターの給与については、事業を開始した平成25年度以降、毎年改定を行っております。 厳しい財政状況の中ではありますが、今後とも人件費の確保に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>&lt;参考&gt; 見守りコーディネーター給与等、地域の見守り活動への支援 大阪市全体の予算額 約3億7千万円(平成31年度予算、21区で実施)</p>	⑤

※分類

- ①当年度(令和元年度)において対応
- ②令和2年度運営方針に反映または令和2年度に対応予定
- ③令和元年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他